

# きょうなんコミュニティ だより

がんばれ花巻

- ◆令和5年度 第4号(通巻151号)
- ◆発行日 令和6年1月15日
- ◆発行 境南コミュニティ協議会
- ◆編集 広報部
- ◆住所 武蔵野市境南町3-22-9
- ◆電話 0422-32-8565
- ◆<https://kyonan-c.website>



この町がすき 人がすき  
～笑顔が広がる 境南町～

## <ご挨拶>

あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご協力、ご支援いただき、ありがとうございます。本年も地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。  
(会長 後藤順一)



## コミセンからのお知らせ

○コミセン開館時間帯の30分くり上げの検討  
コミセンの開館時間を、現行の  
9:30~21:30から30分繰り上げて  
9:00~21:00へ変更することを検討  
すべく、運営委員会へ提案、協議していきます。



○利用者懇談会開催のご案内

令和6年2月17日(土)午後2時より利用者懇談会を開催予定です。令和3年8月のリニューアルオープン以降、コロナ禍を経て現在までの期間に利用していただいた皆様ご意見・ご要望などをお聞きし、今後の運営に反映させていただきます。多数の皆様の参加をお願いします。



## 協議会からのお知らせ

<成人活動部会より>

- ◆現役大学生による落語「新春寄席」  
令和6年1月27日(土)午後2時~
- ◆「調 DUO おしゃべりバイオリンコンサート」  
令和6年2月21日(水)午後2時~



どちらも 無料 先着40名  
申し込みはコミセンにお問い合わせください。



<青少年部会より>

- ◆親子企画
  - ・わらべうたの会 毎月第2・第4月曜日
  - ・くまのこひろば 毎月1回  
(奇数月は2回=第2・第4金曜日)
  - ・親子ひろば 毎月1回



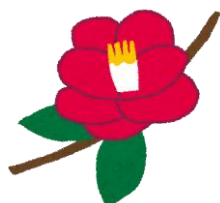
ホームページが新しくなりました  
昨年9月1日よりホームページが新しくなっています。

## 目次

- 会長挨拶 (1面)
- コミセンからのお知らせ (1面)
- 協議会からのお知らせ (1面)
- シリーズ コミセンを支える地域団体 (2面)
- シリーズ わがまちの昔<sup>㊦</sup> (2面)
- 運営委員募集のお知らせ (2面)

<広報部会より>

- ◆いまさら聞けないスマホ教室  
毎月第3土曜日①14時~ ②15時~  
15時~の方がすいています。
- ◆スマホ教室の講師募集  
毎月第3土曜日 13:45~16:30  
日常的にスマホを活用している方ならどなたでも。携帯ショップで扱うような専門知識は必要ありません。  
来られる月だけの参加でOKです。  
詳しく知りたい方は、コミセンにお問い合わせください。改めてご連絡致します。



\*次号「きょうなんコミュニティだより」  
152号は、令和6年3月15日発行予定です。

## 《シリーズ コミセンを支える地域団体》 〈境南小学校 PTA〉

子供たちの学校生活に対しては、朝の授業前の時間の読み聞かせ、各行事の手伝い、新学期はじめの通学路の見守り等を主に行っています。新しい取り組みとしては、子供たちの主体的学びの応援をしたいという思いから、学校や子供たちから要望を聞き、できる範囲で実現のお手伝いをする取り組みとして総合授業から派生したアイデアの実現、学校の活動が円滑に行われるためのアイテムの購入等も行っています。



保護者向けには、主に教職員の皆さんを紹介する広報誌の作成、交流し共に学びあうことを目的とした講習会の開催（今年度は著名な講師を招き「子供の性教育について」のオンライン講座）、PTA コーラスの運営、有志保護者による料理、大人のコミュニケーションなどのサークル活動を行っています。



地域団体の皆様と協力して行う活動は、感染症拡大が少しずつ収まる中で、以前の活気を取り戻しつつあります。CAP（子どもへの暴力防止講座）の開催、コミセン文化祭、やきいも大会の手伝い、地域防災訓練への参加、美化デーの共催など、今年度は多くのイベントに関わらせていただきました。

PTA 全国協議会のHPには「PTA とは社会教育を担う任意の団体であり、時と場所を選ばず常に成長し続ける子供たちを、学校、保護者、地域が協力し支えあうことを目的としている」とあります。輝く未来を担う子供たち全員が、『安心して学び成長し続けられる』環境の中にいられるよう、私たちPTAは、お互いを尊重しあう関係を大切に、地域の皆様と共に「笑顔溢れる境南町」を押し広げていきます。

## ～令和6年度運営委員募集～

あなたも運営委員になって、  
よりよいコミセン作りに  
参加してみませんか？



境南町に在住、在学、在勤の方はもちろん、境南町にあるサークル等に所属している方など、様々な立場で参加していただけます。

運営委員は窓口スタッフにも応募できます。ご興味がありましたら、窓口までお申し出ください。



**締め切り 3月3日（日）**

コミセンは地域のボランティアにより運営しています。

## シリーズわがまちの昔②⑥

今回は前号の谷合憲一さんの紹介で1丁目の「有限会社丸美屋ほんだ」の社長、本田博さんにお話を伺いました。杵築大社の近く、武蔵境通りを挟んで聖徳学園の向いにある二代続く酒屋さんで、本田さんは昭和40年生まれです。

子どもの頃、周辺には家が今ほど多くなく、マンションも武蔵境駅南口交差点角、イトーヨーカドー（東館）の向い側と、かえて通りと境南コミュニティ通り交差点角の、二棟があった位だったとのこと。公園や野っ原も多く、友達と店裏の空き地で野球や缶蹴りをして遊んだそうです。杵築大社境内の千本イチョウ（武蔵野市天然記念物・1972年指定）の下で遊んだことも思い出です。



今の境南コミュニティセンターの向いあたりにあった社宅に友達が住んでいて、境南コミュニティセンターの開館（1976年）も覚えておられました。その頃、1丁目の今のドラッグストアの周辺には、醤油会社など色々な会社の社宅が多かったとのこと。武蔵境通りにも、八百屋、魚屋、薬屋、ラーメン屋、中華食堂、小料理屋などのある商店街がありました。ご自身の店では、酒類以外にジュースや、味噌、醤油、みりんなどの調味料やインスタント麺などの食料品も扱っていたそうです。

武蔵境駅の東西で中央線を越えられる幹線道路は2本だけで、武蔵境通りも今より交通量が多かったそうです。中央線が高架になる前は5宿踏切もいわゆる“開かずの踏切”で、朝8時台前後は踏切渋滞が店の前まで続



いていました。開かずの踏切問題は1965年頃以降、深刻の度合いを増していたそうで（「武蔵野市百年史」より）、この辺りから踏切を通らないで北側に行くには、駅東側にあった地下道か、駅の階段を渡るしかありませんでした。今は高架となり、周辺道路も整備されて南北の行き来が本当に便利になりました。

本田さんは1947年発足の武蔵野市消防団に入団して30年以上。今も市内の火災には駆けつけます。また、通報があれば配達中でも駆け付けられるようにと、車内にもヘルメットなどを装備しているそうです。街の様子は大きく変わってきましたが、昔から変わらない境南町の大事な営みはこのまま続いていって欲しいと思いました。

